

# 考動・躍動・感動

## 一東中生として ～前期生徒総会に参加して～

### 『生徒一人一人が東中学校を良くしていこうと意見を言い合う会』

金曜日の3時間目に行われた生徒総会の時の、執行部の人の言葉です。『生徒総会』は、前期と後期に1回ずつ全校生徒が体育館に集まって行、執行部や委員会の活動計画・生徒会予算案などについて話し合う会です。その中で、最後に『東中をよりよくするための意見交換』をする場がありました。みんなはどんな思いで、3年生の発言を聞いていましたか。生徒会にはたくさんの活動があります。行事だけでも、フェスティバル(文化祭・体育祭・合唱祭)と3年生を送る会の2大行事をはじめ、あいさつ運動・プルトップ運動・学校力アンケートなど、年間を通してたくさんあります。また、行事以外にも日々の学校生活の中で、生徒会が中心となって活動する機会はたくさんあります。それらは執行部や各委員会が中心となって活動していきますが、あくまでも主役は生徒一人一人です。一人一人がこういった姿勢で各行事や話し合いに参加することが大切になってきます。これから3年間、一東中生として積極的な姿勢で生徒会活動に参加し、東中学校をさらによりよい学校にしていきたいと思います。



### 「自分の心」で判断する力を!

あなたはこの記事を読んで、どんなことを感じましたか。『禁止だからやめよう。』という判断も時には必要です。しかし、生きていく中で本当に大切なこと・必要とされていることは、「自分で判断すること」です。

みんなと過ごす中で、時として「これはダメなの?」「どうして〇〇〇はダメなの?」という言葉を目にします。素朴な疑問かもしれませんが、少し自分で「どうしてダメなのか?」と考えていきましょう。東中学校の校則は『自分で考えること』を基本として、必要最低限のことしか定めていません。中学生としてどんなことが必要なのか、求められているのか、『禁止』という言葉ではなく、『自分の心』で判断できる人間になっていきたいと思います。



5月16日(木) 中日新聞朝刊

名古屋市内の公園では、高さ四層のフェンスで囲われていても「野球禁止の看板が張られている所がある。ここで子どもとキャッチボールをしているのか、戸惑った子育て経験者は多いだろう。」

### ペナパフ

#### 野球禁止

名古屋市内の公園では、高さ四層のフェンスで囲われていても「野球禁止の看板が張られている所がある。ここで子どもとキャッチボールをしているのか、戸惑った子育て経験者は多いだろう。」

市によると「小学生同士や保護者とするキャッチボール程度の遊びを、禁ずるものではない。禁止は硬球の使用と中学生以上が大勢です。バットを使う練習や対戦」という。

ボール遊びができるフェンスで囲った場所は市内に九十四カ所。そのうち禁止看板は十三カ所にある。ボールが飛び出して危ないと言われるか、少年野球の団体が無届で占めて迷惑している。また、住民の声を聞いて、設置を決めるそうだが、子どもにとって「禁ずる看板でもいいのではないのか。今のところそんな声ある公園でキャッチボールをしていた父親はうだが。」

(長坂幸枝)